

令和3年度 立 学校【学校の教育目標】

【学校として育成を目指す資質・能力】

【生きて働く「知識及び技能」の習得】  
重点目標:

達成指標:

重点的取組	取組指標

【未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成】  
重点目標:

達成指標:

重点的取組	取組指標

【学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養】  
重点目標:

達成指標:

重点的取組	取組指標

令和3年度〇〇立☆☆小学校【学校の教育目標】「ともに学びあい、高めあう児童の育成」

【学校として育成を目指す資質・能力】 「身につけた言葉を使って関わり合う力」

【生きて働く「知識及び技能」の習得】  
**重点目標：**  
 伝え合うための基礎的・基本的な言葉・  
 概念の習得

達成指標：

- (1) 単元テスト達成6割未満の児童30%減  
 (全学年・全教科)
- (2) 市学力調査平均正答率(知識)が全国値  
 以上

重点的取組	取組指標
【校】自分の学びを自覚する振り返りの充実	授業者は毎時間5分「できたわかった」「これからどうしたいか」の視点で振り返りをまとめさせ共有する
【校】「努力を要する」状況の児童への授業内での支援の実施	授業者は毎時間全員が自分の考えを持つための「見通し」の位置づけと「困りへの手立て」を構想する
【家】学校での学びを共有する会話の充実①「親子ふれあいトーク運動」	保護者は毎日「今日学校でできたこと」を話題に親子で会話し、認める場を持つ

【未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成】  
**重点目標：**  
 思いや考えを言葉で伝え合う力の育成

達成指標：

- (1) 児童アンケート肯定的回答8割以上  
 「授業で自分の考えを伝えることができた」  
 「授業の『みんなまなびタイム』は役に立つ」
- (2) 市学力調査平均正答率(活用)が全国値  
 以上

重点的取組	取組指標
【校】学びを深める交流場面の充実	授業者は自己の考えをもとにした課題解決の場で必要な交流活動(みんなまなびタイム)を位置づける
【家】学校での学びを共有する会話の充実②「親子ふれあいトーク運動」	保護者は毎日「今日学校で思ったこと」を話題に親子で会話し、認める場を持つ
【地】総合的な学習の時間を中心とした地域人材との協働	(CS学習支援部)「協育」コーディネーターはボランティアとの連絡調整の際、「育成を目指す資質・能力」を中心にした打ち合わせを行う。

【学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養】  
**重点目標：**  
 相手軸に立って言葉を通じて関わろうとする力の涵養

達成指標：

- (1) 児童アンケート肯定的回答7割以上  
 「『ほめほめタイム』はうれしい」
- (2) 教職員アンケート肯定的回答6割以上  
 「相手軸に立った子どもの言動を毎日1回以上  
 見つけてほめている」

重点的取組	取組指標
【校】自己肯定感と相手意識を高める集団づくり	・教職員は下校前・集会時に「ほめほめタイム」を実施 (Cn→C、T→C・Cn) ・担任は、年間計画にそって毎週水曜5限前10分の「きずなタイム」でお互いを知り合うトーク系エクササイズを行う
【家・地】言葉で関わりを生む環境づくり	保護者、CS安全安心部等は毎回挨拶時に1言添えてコミュニケーションを意識させる ～「あいさつプラス1」運動～

# 第3ステージ「学校評価の4点セット」構想シート 整理の視点

～児童生徒に関わるすべての人たちにとって役立つツールにするために～

育成を目指す資質・能力を踏まえた「学校の教育目標」は家庭・地域とも共有できる明確なものになっていますか

育成を目指す資質・能力は「学校の教育目標」実現に向けての課題を踏まえたものになっていますか

《構想例》

令和3年度〇〇立☆☆小学校【学校の教育目標】「ともに学びあい、高めあう児童の育成」

【学校として育成を目指す資質・能力】「身につけた言葉を使って関わり合う力」

重点目標は育成を目指す資質・能力に向かう内容ですか  
目標としての表現になっていますか

達成指標が重点目標の達成につながるものになっていますか（これができれば重点目標達成!と言えるかどうか）

重点的取組は達成指標の実現につながる内容になっていますか（達成指標実現に向けてみんなでこれをやるぞ!と言えるかどうか）

取組指標は、重点的取組に対していつ・誰が・どのくらい取り組むかが明確になっていますか

【生きて働く「知識及び技能」の習得】  
重点目標：  
伝え合うための基礎的・基本的な言葉・概念の習得

達成指標：  
(1) 単元テスト達成6割未満の児童30%減  
(全学年・全教科)  
(2) 市学力調査平均正答率(知識)が全国値以上

重点的取組	取組指標
【校】自分の学びを自覚する振り返りの充実	授業者は毎時間5分「できたわかった」「これからどうしたいか」の視点で振り返りをまとめさせ共有する
【校】「努力を要する」状況の児童への授業内での支援の実施	授業者は毎時間全員が自分の考えを持つための「見通し」の位置づけと「困りへの手立て」を構想する
【家】学校での学びを共有する会話の充実①「親子ふれあいトーク運動」	保護者は毎日「今日学校でできたこと」を話題に親子で話し、認める場を持つ

【未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成】  
重点目標：  
思いや考えを言葉で伝え合う力の育成

達成指標：  
(1) 児童アンケート肯定的回答8割以上  
「授業で自分の考えを伝えることができた」  
「授業の『みんなまなびタイム』は役に立つ」  
(2) 市学力調査平均正答率(活用)が全国値以上

重点的取組	取組指標
【校】学びを深める交流場面の充実	授業者は自己の考えをもとにした課題解決の場に必要な交流活動(みんなまなびタイム)を位置づける
【家】学校での学びを共有する会話の充実②「親子ふれあいトーク運動」	保護者は毎日「今日学校で思ったこと」を話題に親子で話し、認める場を持つ
【地】総合的な学習の時間を中心とした地域人材との協働	(CS学習支援部)「協育」コーディネーターはボランティアとの連絡調整の際、「育成を目指す資質・能力」を中心にした打ち合わせを行う。

【学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養】  
重点目標：  
相手軸に立って言葉を通じて関わろうとする力の涵養

達成指標：  
(1) 児童アンケート肯定的回答7割以上  
「ほめほめタイム」はうれしい  
(2) 教職員アンケート肯定的回答6割以上  
「相手軸に立った子どもの言動を毎日1回以上見つけてほめている」

重点的取組	取組指標
【校】自己肯定感と相手意識を高める集団づくり	・教職員は下校前・集会時に「ほめほめタイム」を実施 (Cn→C、I→I) ・担任は、年間計画にそって毎週水曜5限前10分の「きずなタイム」でお互いを知り合うトーク系エクササイズを行う
【家・地】言葉で関わりを生む環境づくり	保護者、CS安全安心部等は毎回挨拶時に1言添えてコミュニケーションを意識させる ～「あいさつプラス!」運動～

☆4点セットの各項目の関係性を見える化した構想シートを構想例とともに作成しました。児童生徒に関わるすべての人にとって、協働して「学校の教育目標」を実現するために参考になれば幸いです。